

いわき市感染症発生動向調査(週報)
2025年第18週(4月28日～5月4日)

○警報

【警報】伝染性紅斑

※警報・注意報の基準については、市ホームページ内「医療機関のみなさまへ」をご覧ください。

○定点把握対象疾患(報告数が多い上位3疾患)

順位	疾患名	定点あたり患者報告数		増減の傾向 (過去2週間との比較)
		今週	前週	
1	伝染性紅斑	4.80	3.40	横ばい
2	水痘	2.00	0.20	増加
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.40	3.20	減少
3	感染性胃腸炎	1.40	2.40	減少

※その他の定点把握対象疾患の報告数については、福島県感染症発生動向調査報告(ホームページ内リンクあり)からご確認ください。

○今週のトピックス

◇県内では百日咳(全数報告)が平成30年1月以降、週当たりの報告数が最多となりました。◇

(1) 伝染性紅斑(りんご病)

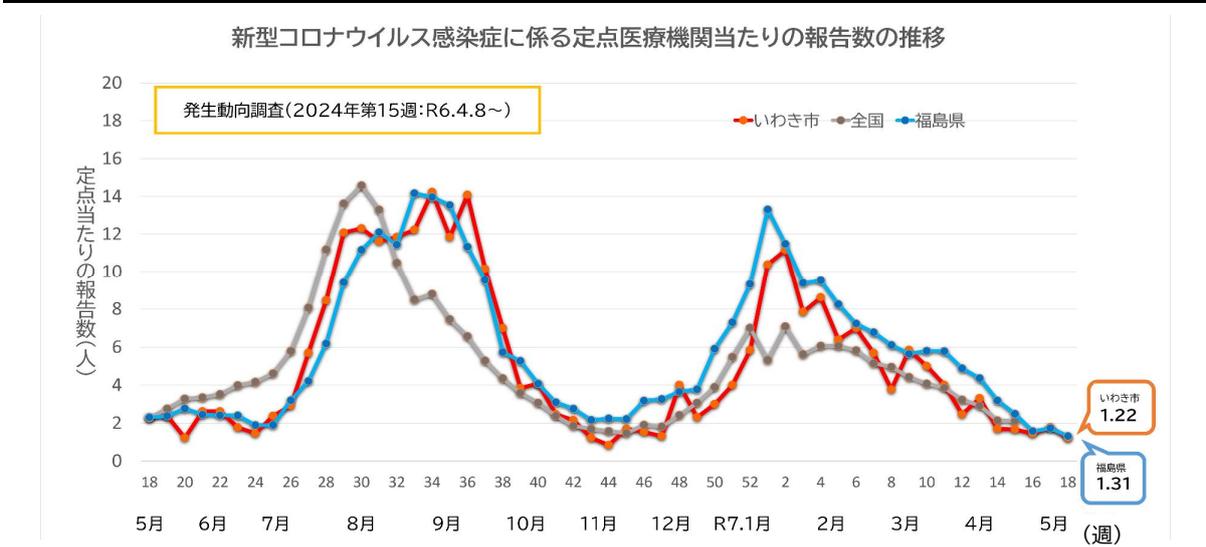
〈いわき市内の定点あたり報告数〉

- ・全国では、過去5年と比べ報告数が多い状況が続いており、**県内で警報継続中**です。市内でも流行がみられています。
- ・妊娠中または妊娠の可能性のある方が感染すると胎児に影響を及ぼす恐れもあることから、人混みを避け、こまめな手洗い、マスクの着用等の感染対策を心がけましょう。

(2) 水痘

- ・水痘(みずぼうそう)は、**市内で流行がみられています**。県内でも増加傾向にあり、注意が必要です。
- ・お子さんに多い感染症ですが、大人が初めて感染すると重症化する恐れがあり、妊娠中または妊娠の可能性のある方が感染すると胎児に影響を及ぼす恐れもあります。
- ・感染予防のために、マスクや手洗い、換気などの感染対策を心がけましょう。ワクチンの接種も有効です。

○新型コロナウイルス感染症



5類移行後も新型コロナウイルスの感染力や病原性は変わっていません。高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクが高まりますので、通院や高齢者施設を訪問する場合には、マスクの着用等、引き続き感染予防対策を心がけましょう。